

地域の労働者と青年の結集をめざす

横三労連新聞 第152号



2019年5月20日発行

docomo

au/ソフトバンク

<http://www.yokosan.info/index.htm> e-mail: yv2t-tnk@asahi-net.or.jp

046-823-0210 (内線433) 238-0006 横須賀市日の出町2-9



合宿での講義 No. 5 特攻兵器

私が特攻兵器に興味を持つのは、自分が閉所恐怖症で、狭い場所に押し込められる恐怖が、人一倍強いからです。

最初に興味を持った特攻兵器＝桜花は、松本零士の戦場まんが「ザ・コックピット」で知りました。ほぼ世界で唯一の人間ロケットで、横須賀では秋水（ロケット戦闘機）とともに、貝山地下壕で製造。女学校の生徒が作成に当たっていました。

伏龍（人間機雷）は、苛性ソーダで二酸化炭素を吸収させるものでしたが、事故多発で、横須賀だけで10人が死亡し、実用化しませんでした。

震洋（ベニヤ板のモーターボート）は、ウンカのごとき大群で押し寄せ、機銃の餌食になっても、一隻でも到達できればよいとした最悪の特攻兵器。

特攻潜水艇（蛟龍・海龍）は、回天（人間魚雷）よりはるかに遅い、2～5人乗り込みの小型潜水艦です。いずれも搭乗員の居住性を全く無視した、非人道的な特攻兵器でした。

田中隆雄

メーデー集会に250名！

5/1（水）午後、第90回メーデー横須賀三浦地区集会がヴェルニー公園で開催され、19団体250名が参加しました。

集会では、来賓として、神奈川労連山田事務局長、県労働センター、原子力空母市民の会の呉東共同代表、日本共産党の畑野君枝衆議院議員が

挨拶、あさか参議院選挙区候補、しいば比例候補、井坂県議、横須賀・三浦の5市議が紹介されました。

集会后、横須賀中央までデモ行進、心配された天気も、集会中は降らず、デモ行進中も小雨で済みました。

「ヒバクシャとともに歩む横須賀市民の会」結成のつどいに28名！

ヒバクシャ国際署名を大きく広げるため、なぎさ会（横須賀の被爆者の会）と横須賀原水協が、原水禁などにも呼びかけて準備をすすめてきた、「ヒバクシャとともに歩む横須賀市民の会」が、5/19（日）に結成され、「西から昇った太陽」の上映会に、28人が参加しました。写真は、代表に選出された3人の被爆者の一人の村山恵子さん。代表には他に、呉弁護士と、横須賀原水協の田中共同代表が選出されました。他に、原田元市議にも打診中です。

